

鶴岡ロータリークラブ会報

829

1975-11-11 No.20

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 午後 12.30 ~ 1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

◆ 点 鐘

◆ ロータリーソング (我等の生業)

◆ ビジターゲスト紹介

◆ 会長報告 —— 鈴木弥一郎副会長

- ◆ 次年度会員役割分掌に就いて理事会が開かれた。
- ◆ 11月2日 鶴岡ライオンズクラブ認証状伝達式があり私が出席しました。
鶴岡に三番目のライオンズクラブが誕生した事になります。
- ◆ 飯白祐信君 病氣快復御見舞を贈る。

◆ 幹事報告

他クラブ例会場変更他

◆ 佐々木敏全君 (NHK鶴岡放送局長) 東京に転勤挨拶

当地に来て5年になりますが、皆様ともう一步踏み込んだお附合を願いたかったのですが残念です。「君子豹変す」の例の如く、東京に行ったら当地での経験をもとにしてより成長したいと思って居ります。今後共宜しくお願い申し上げます。

◆ 早坂PG、エルネスト インバッサイ RI 会長歓迎会出席報告

去る3日、帝国ホテルに於いて歓迎会が開催。会長は大柄な人で日本語で長文のスピーチが行われ、出席者に感銘を与えました。

◆ 今野成行君スピーチ (同君の希望により内容は伏せます)

◆ ロータリー財団週間に繋いでスピーチ —— 上野R財団委員会 (後述)

◆ スマイル発表 —— 上林一郎親睦委員

◆ 出席報告

◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!

ロータリー財団週間にちなんで

鶴岡ロータリー財団委員長 上野三郎

1917年といいますか、今から58年前ロータリー誕生して12年たった時の国際大会で当時のアーチクランク会長が「人類に対する偉大な教育的奉仕」をするための資金を持ちたいと提案し承認されたのが今日のロータリー財団設立のキッカケであったと云われます。それから11年後には正式にロータリー財団が設立され、更に3年後の1931年11月に財団は信託組織に改められました。

1947年ポール・ハリスが亡くなると、たちまちその追悼のため多大の寄付金が財団に寄せられました。同じ年に18名の大学院課程奨学生がはじめて生まれたのに続いて、財団のプログラムは次々に増えて、現在は、次に述べる5つのプログラムを持っております。

1. 大学院課程奨学金 他国で1年間大学院課程を研究する20才から28才までの男女に1年間の旅費、生活費及び学費が奨学金として支給されるものです。当クラブ推せんの菊地敏君は、この奨学金で現在米国アイオワ州立大学で勉学中で、このプログラム創立以来今日まで28年間に全世界で4,568名の学生がこの奨学金をうけております。
2. 大学課程奨学金 1970年東北学院大学の石黒敏明君が、当クラブ推せんて米国のハイデルベルグ大学でこの奨学金により英文学を勉強されました。全世界では、このプログラム創設以来、今日までの8年間で、602名にこの奨学金が与えられました。
3. 専門的訓練補助金21才から35才までの男女青年技術者が外国で1年以内の期間、訓練をうけるとき旅費、生活費、学費として与えられるもので、創設以来9年間に441名がこの補助金をうけております。
4. 心身障害者教師奨学金 心身障害者の専任教師が外国で勉強する場合に与えられる奨学金で、創設以来3年間に157名の教師に支給されております。

5. 研究グループ交換 1972年オーストラリアの278地区との交換が行われた(当クラブ推せんの本間利男氏参加)に続いて来年9月当地区から第2回目の派遣チームが、735地区(米国ペンシルバニア州)に派遣されることになっています。このプログラム発足以来今日まで11年間に2,944名が参加しております。

6. 特別補助金 ロータリー財団の目的に沿った立派な教育的、慈善的事業に対して与えられる補助金です。

以上5つの活動プログラムに対して財団発足以来今年度まで27,747千ドル(約80億円)支出されており、来年度は550万ドル(約16億円)がこれら活動に使われることになっております。

財団管理委員会から送られた財務報告書によると昨年度各種奨学金、補助金として支出された総額は4,476,161ドル(約13億円)で前年の35.7%増であったこと、そして、この増額の原因は、世界的インフレにもよるが支出件数も多かったからであると云っております。又昨年度の収入総額は、7,115,856ドル(約20億余)でこの金額を基礎にして、3年後の1977~78年度の補助金を6,645,460ドル(約19億円)と予定していると述べております。

さて、こうした有益な大きな事業を継続し拡大してゆくには大規模な財政援助が必要であり、財団の収入の大部分は、ロータリアンやその他個人の寄付によって賄われております。

われわれは後程述べるように、いろいろな形で財団に寄付をしている訳ですが、これらはすべて米国伊利ノイ州・エバンストンにある。ロータリー財団管理委員会に送金されます。そしてクラブとしての寄付は勿論のこと個人の寄付もその所属クラブの寄付金に自動的に算入されます。これら寄付金の累計額が

クラブの会員1人当たり10ドル（現在の換算で2,900円）になるとそのクラブは、「100%財団クラブ」と認められ、1人当たり20ドルとなれば「200%財団クラブ」となる訳であります。

ガバナー月信第4条に今年5月30日現在の地区内各クラブの財団寄付累計額と、寄付率の表が出ております。それによると当クラブ発足以来の財団に対する寄付累計は10,679ドル（約3,100千円）であり、1,600%財団クラブとなっております。

かつて、当クラブは長い間パーセンテージで地区内最上位にありました。2年前の昭和48年8月現在の表によりますと、当クラブは1,300%で第1位、第2位1,100%で相馬クラブ、第3位1,000%で平クラブとなっております。ところがその翌月昭和48年9月現在では、当クラブは100%上って1,400%にはなったが、相馬クラブは一躍500%アップの1,600%で第1位に躍り出たのであります。そして現在では、相馬クラブは2,900%で断然1位当クラブは2位ではありますが1,600%と大きく水をあげられてしまったのが現状であります。

問題は、こればかりではありません。実は3位以下の後続クラブがジリジリと追い上げてきております。相馬クラブの大躍進に刺戟されたのかのように、わがクラブに続いた会津若松西と天童クラブが1,500%とわずか100%の差で迫ってきております。殊に天童クラブは、今年6月の表では1,000%であったのですが、一抛に500%のアップと、かつての相馬クラブを思わせるものがあります。更に飯坂クラブが1,400%、東根、会津若松が1,300%、寒河江、会津若松が1,200%平東、酒田東、福島、平の各クラブが1,100%、鶴岡西、山形西、上山、勿来各クラブが1,000%と100%刻みに目白押しに続々と追い上げてきている状況で、鶴岡クラブ財団委員長としては、誠に気の焦る思いでいるところであります。

当委員会の目論見を卒直に申し上げますと今年度末に何とか1,800%まで持ってゆきたいと考えております。

先日、これまで皆様にご協力いただいたも

の約135,000円を財団に送金いたしました。これであと45,000円位で1,700%にはなる筈であります。

当クラブの場合、100%アップするに約193,000円必要であります。今月以降の財団協力の日のご協力を全部予定して、1,800%にするには、約100,000円足りません。何とかここで4人程度新たに準フェローの申込みを頂けば足りる訳であり、これをお願いしたいわけであります。

ご承知のように、財団に対し1,000ドル（290,000円）以上の寄付をしたときに、ポールハリス・フェローと認められ、又何年かの間に1,000ドル以上の寄付をすることを承諾して最初、最低100ドル（29,000円）以上寄付したときポールハリス準フェローとなり満額に達したときにポールハリス・フェローと認められる訳であります。

当クラブでは、ポールハリス・フェローには、張紹淵君、早坂源四郎君、斎藤榮作君、そして、故張生妹さんの4名が、又準フェローには、小花盛雄君、三井徹君、石黒慶之助君、佐藤衛君の4名が居られます。

地区内には、現在213名の準フェローが居られるが、上位から東根18名、酒田東15名、原町、飯坂が14名、相馬、平東が13名、山形西、遊佐12名、勿来10名の順になっており、当クラブの4名は、一寸さびしい感じがいたします。

準フェローになる手続きは極めて簡単で、100ドル（29,000円）を、私なり、山下さんに持ってきて頂き、そして今後の払込みの予定を大体のところ教えて下さればそれで全部で、あとの手続きは、委員会か事務局でいたします。呉々もよろしくご協力をお願いいたします。

本日の私のスピーチの結論は、今年度末1,800%財団クラブの目標達成のため

1. 毎月第4例会の財団協力の日にこれまで同様、1人500円程度の寄付をお願いしたいこと。
 2. ポールハリス準フェローの申込みを何卒お願いしたいこと。
- 以上であります。

菊地敏君よりの便り

拝啓 寒さが除々に増して来て、冬のまえぶれをかんじさせます。いかがおすごしでしょうか。

Iowa state University にも慣れて、本来の研究と学校の授業も十分やっています。成績も心配したほどでもなく、アメリカ人の中にあつて中位から中の上といったところで。日本で受けていた授業よりは、密度の濃い授業が続くので、復習に相当の時間がかかります。

英語も日常会話は不自由なく話せるレベルになりました。しかし、内容のこみ入った話しになると本当にとまどいます。

Iowa state University は、科学の分野では有名で、10本の指に入る大学だそうです。したがって学生は良く強勉をします。あちこちで強勉する姿が見られます。日本の受験生なみの強勉をここの大学生はしているようです。夜中の12時をすぎても、強勉する部屋のあかりはついています。

アメリカの教育の一番うらやましく思うことは、強勉をする気持のある者には、多くの特典があるということです。

又、ロータリークラブの集会に2度ほど出席させて戴きましたが、活発な活動がなされ

ているように感じました。特にロータリークラブの会長さんは親切にいろいろと助けてくれます。私のカウンセラーは、この大学で教えていた人で日本の知識も深く、良く助けてくれます。

Dr. FLOYD J. ARNOLD氏です。

エイムズ (Ames) は本当に良い町です。人々は親切です。アメリカを頭初考えていたのは少ししがった気がします。いつも親切を受けることばかりで恐縮しております。

日本について特に考える機会を多く持ちます。日本の奨来についての考えが、自分なりにこの留学を通じて理解できたような気が致します。

まずは、近況報告を致しました。

寒くなりますがお体を大切にお暮し下さいませ。

鶴岡ロータリークラブの皆様宜しくお伝え下さい。 敬具

1975年10月30日

スマイル

森田清治君——竿クラブで優勝
 齋藤得四郎君
 早坂源四郎君
 石井敬三君

50年度優良申告法人として表敬状を受けました。

出席報告

本日の出席	会員数	71名	欠席者	阿部(公)君、張君、半田君、五十嵐(三)君、板垣君、玉城君、風間君、三井(徹)君、三井(健)君、三浦君、男網君、齋藤(信)君、佐藤(伊)君、佐藤(友)君、菅原(啓)君、菅君、高橋(正)君、佐藤(宇)君、富樫君、清水君、山本君、菅原(辰)君
	出席数	49名		
	出席率	69.01%		
前回の出席	前回出席率	70.42%	メークアップ	阿部(襄)君、早坂(源)君—酒田RC 藪田君—気仙沼RC 笹原君—仙台RC 中江君—温海RC 阿部(公)君、嶺岸君、中野(清)君、新穂君、佐藤(衛)君、菅原(啓)君、高橋(良)君、清水君、山本君—鶴岡西RC
	修正出席数	64名		
	確定出席率	90.14%		
ピジター	加賀山隆士君、五十嵐卓三君、帯谷義雄君 長南朋養君、上野十九治君、齋藤福太郎君—鶴岡西RC			